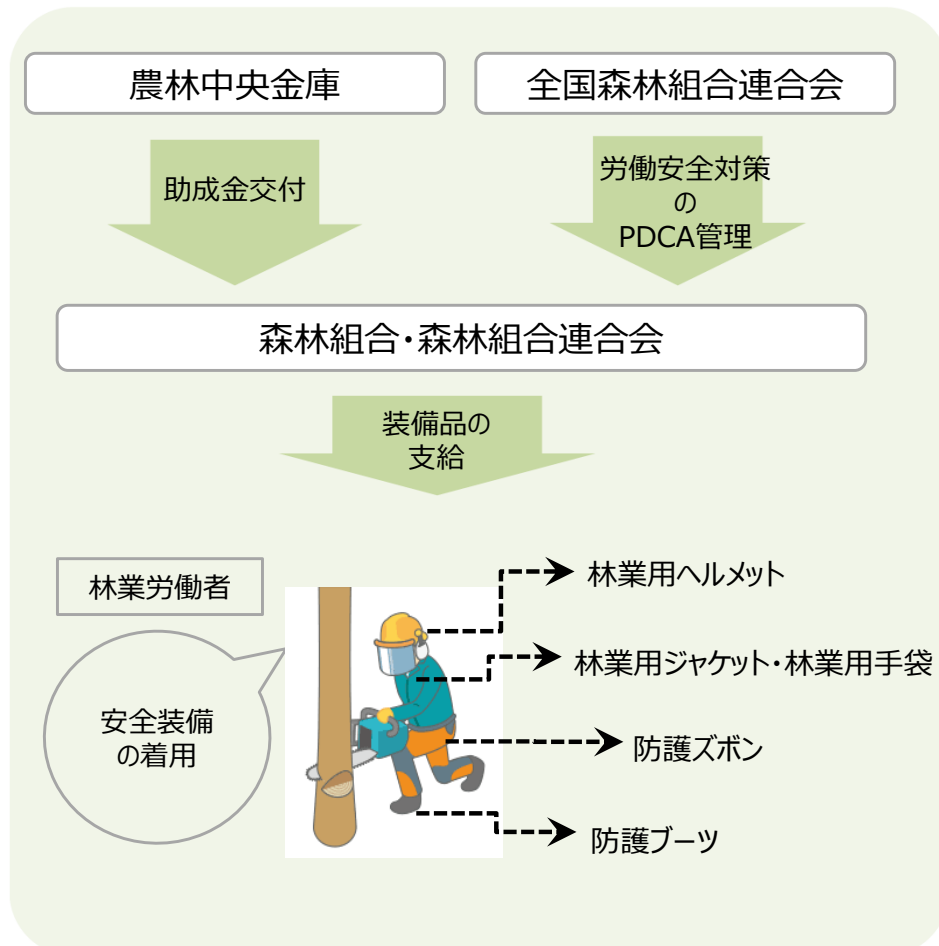


1 2022年度 林業労働安全性向上対策事業について

- 林業における産業別死傷年千人率は25.5人（2020年度時点、全産業平均の約11倍）と著しく高い水準にあります。また、林業従事者の高齢化率は他産業比で高く、林業従事者数も減少傾向にある等、林業従事者の確保のために労働安全性向上は喫緊の課題です。
- こうした環境を踏まえ、農林中央金庫では2015年度から「林業労働安全性向上対策事業」を実施しています。当事業では、労働安全対策に取り組む森林組合・連合会等を対象として、安全装備品等の購入費用を助成しております。



2022年度の主な変更点

一部対象商品の拡充

- ・ 防護ズボン・ブーツ等従来の安全装備品ほかフルハーネスを対象に追加。
- ・ 割賦利用対象商品を拡充（自動チェーンソー目立て）。

〈当事業推進による効果〉

安全装備品普及による林業の安全性向上
熱中症対策装備品や伐倒補助器具等の普及による労働環境の改善



林業現場の労働安全教育の高度化
林業安全教育360°VRの普及



**労働災害低減・
担い手確保の実現**

2 林業労働安全性向上対策事業の実績・効果

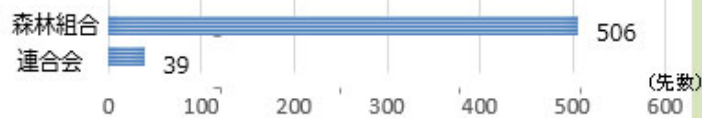
- 2015～2020年度の6年間で合計2,672件・464百万円の助成を実施し、助成対象人数は延べ約5万1千人に到達しました。
- 当事業実施前(2014年度)と比較し、チェーンソー等の起因による「切れ・こすれ」事故件数は▲160件と減少しており、**当事業による安全装備品の普及活動が「切れ・こすれ」による事故件数減少に大きく貢献しております**。2022年1月からは新規格の墜落制止用器具（フルハーネス）の着用が義務化されるなど、当事業のニーズが一層高まっております。
- 一方でまた、林業における労働災害の発生率(死傷年千人率)は、低下傾向にありましたが足元では上昇するなど、**全産業(2.3)と比較すると高い水準にあり労働災害発生件数の抑制は喫緊の課題です**。

図1 助成実績 (累計)

累計464百万円、2,672件



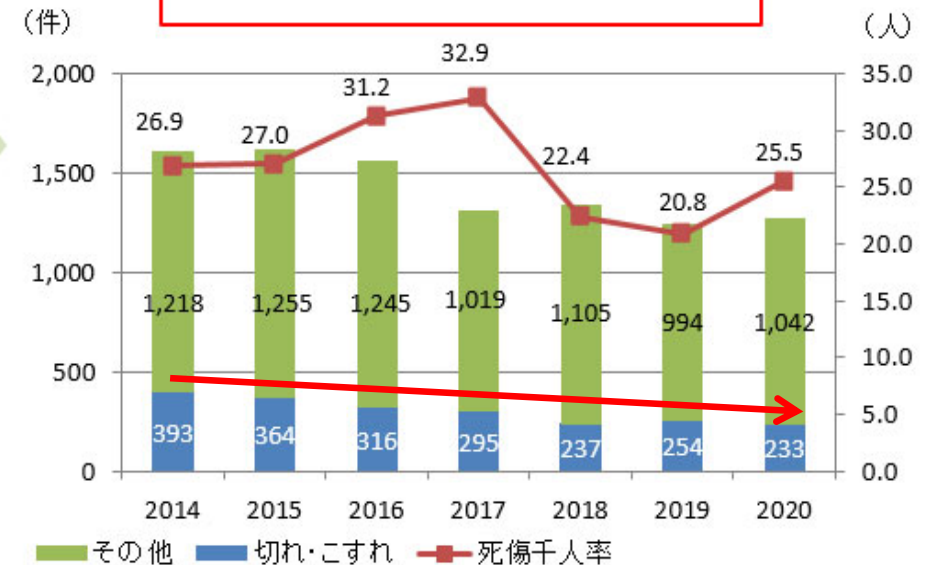
図2 応募先数



安全装備品の普及活動により
チェーンソー等の起因による
労働災害件数低減に貢献

図3 死傷事故件数 (左軸) と死傷千人率 (右軸)

2014年度→2020年度 切れ・こすれ▲160件



3 2022年度の助成事業募集概要

助成対象団体	森林組合系統運動を踏まえた、労働安全性向上対策に取り組む森林組合、森林組合連合会
助成対象	<p>① 一定の防護機能を有する安全装備品（防護ズボン・ブーツ等従来の安全装備品ほかフルハーネスを追加）</p> <p>② 熱中症対策商品（ファン付ジャケット、クールインナー等）</p> <p>③ 割賦利用対象商品の拡充（自動チェーンソー目立て機） ※2021年度からの変更点は赤字</p>
助成率	30%
募集期間	<p>①上期募集：2022年4月1日（金）～4月30日（土）</p> <p>②下期募集：2022年9月1日（木）～9月30日（金） ※いずれも間接助成は電子申請、直接助成は郵送(消印有効)</p>
装備の使用者 とその条件	<p>(1) 直営班</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 装備品の使用者は、助成対象団体が直接雇用する現業職員であること。 ✓ 装備品は、助成対象団体から使用者に対して無償で支給されること。 ✓ 割賦方式の利用が可能。 <p>(2) 請負先</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 装備品の使用者は、助成対象団体と請負契約書を締結し、かつ直近1年間に1事業以上請負実績がある請負先が雇用する現業職員であること（一人親方を含む）。 ✓ 装備品は、助成対象団体から現業職員が所属する請負先に対し販売されること。販売価格については、助成対象団体と請負先の協議により決定する。 <p>(3) 組合員</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 装備品の使用者は、助成対象団体の組合員で自ら林業を営むものであること。 ✓ 装備品は、助成対象団体から組合員に対し販売されること。販売価格については、助成対象団体と組合員の協議により決定する。 <p>(4) 林業大学校等の学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 装備品の使用者は、林業大学校等に在籍する学生であること。 ✓ 装備品は、助成対象団体から林業大学校等に対し販売されること。販売価格については、助成対象団体と林業大学校等の協議により決定する。 ✓ 実習開始時期（5月頃）を踏まえ、通常よりも早い納品とする（4月～5月）。 ✓ 割賦方式の利用が可能。

4 2022年度の応募スケジュール

①間接助成	2022年						2023年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申請・注文（森組・森連）	■					■						
商品発注（全森連）		■					■					
納品（各メーカー）			■	■				■	■			
事後資料提出（森組・森連）			■	■	■				■	■		

※林業大学校等の学生の場合、商品の納品を上期は4月～5月、下期は9月～10月を予定。

②直接助成

申請手続（行動主体）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前申請（森組・森連）	■					■						
仮決定（農林中金）		■					■					
商品購入（森組・森連）		■	■	■			■	■	■			
助成金申請（森組・森連）				■	■				■	■		
助成金交付（農林中金）							■					■

《申請書送付先》

（1）間接助成 ※電子メール

- ①申請者が組合の場合（東京都森組、大阪府森組を除く）
各都道府県森林組合連合会 あて
- ②申請者が連合会の場合（東京都森組、大阪府森組を含む）
〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町1-9-16 丸石第2ビル6階
全国森林組合連合会 系統事業部購買課 あて
(TEL 03-6700-4734)

（2）直接助成

〒100-8155
東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi One タワー
農林中央金庫 営業企画部 森林班 あて
(TEL 050-3853-0264)